

青少年育成委員会ニュース

毎年11月20日は「さっぽろ子どもの権利の日」

地区の活動紹介



第37号
令和6年3月発行

清田区

第33回 青少年音楽のひろば 北野地区青少年育成委員会

日時 令和5年12月2日(土)

場所 北野台小学校

北野地区の音楽のすばらしさ

令和5年12月2日(土)、北野台小学校で「青少年音楽のひろば」を約3年ぶりに開催しました。この音楽会は、平成元年から開催している地域の伝統行事で、今年で33回目となります。

新型コロナウイルス感染症が流行する前は、北野地区小学校5年生を含めた9チームで行われていましたが、まだ小学校には影響があるため不参加となり、北野地区



の中学校や、清田高校、北野地区のサークルを含めた6チームが大変素晴らしい音楽を披露しました。

また、知野学区長をはじめ多くのご来賓、保護者の方が来場され大変賑わいました。来場者が想像以上に多く、椅子が足りないことを察した清田高校の生徒が、自分たちの椅子を来場席に並べ自分たちは体育館の冷たい床に座り、高校生の優しさや思いやりが伝わる感動した場面も見られました。



白石区

新春もちつき大会 東白石地区青少年育成委員会

日時 令和6年1月28日(日)

場所 東白石会館

「よいしょー!よいしょー!」

3年ぶりとなる「新春もちつき大会」を開催し、子ども63名・保護者78名の計141名が参加しました。

久しぶりの開催で、委員会メンバーは四苦八苦するところもありましたが、子どもたちの笑い声や、「よいしょー!よいしょー!」という掛け声で、自然と会場は笑顔で溢れていきました。最後は保護者の方にももちをついていただき、日頃のうっ憤…いや、子どもたちに良いところを見せられたと思います。

子どもたちが重たい杵で一生懸命もちをつく姿や、つきたてのおもちをびよんと伸ばして食べ

る姿が印象的で、子どもも大人も「最高の思い出になった」と喜んでいました。

今年から、待機室でドローン操作やVR体験ができるコーナーを設けて遊んでもらうなど、待ち時間が少なくなる取組も始めました。

これからも子どもたちが笑顔になる事業を続けていきたいと思ひます。



手稲区

第30回 手稲区長杯争奪綱引き大会 新発寒地区青少年育成委員会

日時 令和5年11月26日(日)

場所 新陵小学校体育館

地域の絆と子どもの成長が深まった行事

手稲区長杯争奪綱引き大会が令和5年11月26日(日)、新陵小学校の体育館で開催されました。新発寒地区の6町内会から111名の子どもが参加し、低学年混成5チームと高学年混成5チームが対戦しました。当日は、多くの来賓の方や保護者から励ましの言葉や声援を頂きました。

高学年チームの対戦では、体力差が見られたものの、



保護者や地域の方の声援を背に受け、声をあわせて引くなど団結力が見られました。

低学年の対戦では、全戦全勝するチームや善戦するものの勝利に恵まれず敗退するチームがありましたが、声援にこたえようと、汗を流しながら一生懸命に綱を引いていました。

小雪が降る寒い日でしたが、体育館は熱気にあふれていました。この大会で地域の絆が深まり、子どもたちの成長を感じられる一日でした。



東区

4年ぶりに開催! 「あそびのひろば」 栄東地区青少年育成委員会

日時 令和6年1月11日(木)

場所 日の丸会館

昔ながらのあそびは今も楽しく、面白い!

栄東地区青少年育成委員会では、年4回のイベントを企画しており、令和6年1月11日(木)には、日の丸会館で、幼児から小学校低学年対象の「あそびのひろば」を4年ぶりに開催しました。

これは、昔ながらの遊びを今の子どもたちに伝え、楽しんでもらいたいという思いから始めたイベントです。

会場では「お菓子釣り」、「竹とんぼ作り」、「輪なげ」、「あやとり」、「紙鉄砲での射的」などのコーナーを用意し、子どもたちは、楽しく遊んでいました。

最近では、テレビゲームなどで遊ぶ子どもがほとんどだと思いますが、自分たちの手で紙鉄砲や竹とんぼなどを作るのは、かえって新鮮に感じられたのではないかと思います。

今も昔も子どもの興味は変わらないのだとイベントを通じて実感し、参加した子どもたちの笑顔に元気をもらった1日となりました。



中央区 豊水地区もちつき大会

豊水地区青少年育成委員会

日時 令和5年12月3日(日)

場所 豊水会館

ついて、丸めて、もちっと美味しい!

令和5年12月3日(日)、豊水地区青少年育成委員会が豊水地区連合町内会と共催する「豊水地区もちつき大会」を豊水会館(南8条西2丁目)で開催し、豊水地区に住む中学生以下の子どもとその保護者、スタッフを合わせて約80名が参加しました。



最近では、杵と臼を使った餅つきをする光景は少なくなっていますが、豊水地区ではコロナウイルスの影響による中止を乗り越え、4年ぶりに開催することができました。

参加者は、エプロンと三角巾を身に着け、手をしっかりと洗った後、餅をつく・食べやすいように丸めるといった作業を行いました。子ども達は、普段なかなか体験できない作業に慣れない様子ながらも、とても楽しそうな表情でした。

会の最後には、つきたてのお餅がお雑煮やきな粉餅などとして振る舞われ、みんなで美味しくいただきました!

厚別区 あつべつひがし かるた&ゲーム大会

厚別東地区青少年育成委員会

日時 令和6年1月14日(日)

場所 小野幌会館

かるたにゲームに元気いっぱい!

厚別東地区青少年育成委員会主催による「かるた&ゲーム大会」を、小野幌会館(厚別東まちづくりセンター併設)で開催しました。

このイベントは、厚別東地区に住んでいる小学生と幼児を対象に、新型コロナによる中止を経て、4年ぶり13回目の実施となりました。

当日は、参加者がおおよその学年別に分かれて、様々な種類のかるたで遊びました。参加した子どもたちは、元気いっぱい大きな声をあげながら、我先にと札を取っていま



した。かるたの他にも様々なゲームが用意され、ビンゴ大会では商品をゲットできた子どもから喜びの声がたくさん聞こえてきました。

終了後は、参加者みんなで豚汁を食べ、主催した育成委員のスタッフと参加者との楽しいふれあいの場となりました。

豊平区

雪中運動会

東月寒地区青少年育成委員会

日時 令和6年1月28日(日)

場所 吉田川公園

寒さに負けず走ってポカポカ!

東月寒地区青少年育成委員会では、毎年「東月寒地区連合町内会雪中運動会」への運営協力を行っており、今年で40回目の開催となります。

当日、晴天に恵まれた会場には、子ども250名、大人150名、実行委員50名の総勢450名が集い、それぞれの競技を通じて親睦と交流を深めました。

主催者の予想をはるかに上回る参加者数で大変盛り上がり、子どもたちは、思いっきり走って、転んで、笑って、汗をかいて



いました。

また、ボランティアとして参加してくれた中学生が、ボブスレー競技のソリに幼児を乗せて走ってくれた姿も印象的でした。

地域の行事が年々減少していく傾向にありますが、顔なじみの子どもたちから声をかけてもらうこともあり、育成委員としての活動に喜びを感じています。

西区

第52回 西野地区雪と楽しむつどい

西野地区青少年育成委員会

日時 令和6年2月11日(日)

場所 五天山公園

雪と楽しむさっぽろの子

令和6年2月11日(日)、第52回雪と楽しむつどいを開催しました。

当日は朝に40cmを超える積雪でしたが、五天山公園の方々が除雪に汗を流してくださり、なんとか開催することができました。

参加者は、名簿上430名ですが、駐車場が満車となりかなりの方々がそのまま帰られたようですので、駐車ができたら500名を優に超えたでしょう。

競技は、①みかんひろい②親子ばんば③そりすべり④子ども会競技のしっぽ取り⑤スノーフラッグと、幼児から親、おじいちゃんおばあちゃんも参加でき、みなさん心地良い汗を流されたようです。親から子ども、そして子どもから親への声援が飛び交い、笑顔が弾けてみんなが楽しい一日を過ごすことができました。

今年は、幼児と若い両親の参加がかなり増えました。来年に向けて、さらに楽しい内容にしていきます。関係者の方々の力添えがあり、開催できたことに今一度感謝いたします。



北区

エスコンフィールド北海道 スタジアムツアー 幌北地区青少年育成委員会

日時 令和5年10月1日(日)

場所 エスコンフィールド北海道

初めてのエスコンフィールド北海道!

幌北地区青少年育成委員会では、小学4～6年生の児童を対象に楽しい研修会を開催しており、令和5年10月1日、完成したばかりのエスコンフィールド北海道のスタジアムツアーに15名の児童が参加しました。

引率する育成委員もワクワクしながら、ファイターズガールの案内により、とても豪華な特別シートに座ったり、選手がいつもいるダグアウトに入ったり、グラウンドに降りたりするなど貴重な経験が出来ました。

洗練された記者会見場なども十分に堪能



してから、外野席でこのスタジアムでしか食べられないというお弁当を食べました。

体を思い切り使って遊べる場所や普段触れることのない遊具が多くあり、コロナ禍で窮屈な思いをしていたのか、子どもたちはたくさん遊んでいました。

最後にグループで相談しながらお土産を購入して研修会を終え、楽しい一日となりました。

南区

第1回 藻岩地区ボッチャ大会 藻岩地区青少年育成委員会

日時 令和5年10月14日(土)

場所 もいわ地区センター多目的ホール

ドッジボール大会からボッチャ大会へ

藻岩地区青少年育成委員会の主催で、第1回藻岩地区ボッチャ大会を開催しました。

ボッチャ自体があまり知られていなかったせいなのか、なかなか参加チームが集まりませんでした。小学校や児童会館に声掛けをした結果、地域の小学3年生から6年生まで、4チーム11名が参加しました。意外にも11名中10名が経験者でしたので、ルール説明などもスムーズに行うことができました。

試合は総当たり戦で行い、上位2チームで決勝戦を行いました。優勝した川崎チームには金メダルが授与され、とても喜んでいました。

どのチームも真剣で、チーム内で作戦を話し合いながら試合を行い、大いに盛り上がり楽しんでいる様子が印象的でした。

これからも小学生を含め、地域にボッチャを広げていきたいと思えます。



「青少年を見守る店」を知っていますか？



札幌市では、買い物などに訪れた子どもたちに温かい声をかける、お酒や煙草、成人雑誌など子どもたちに悪影響を及ぼすようなものを「売らない」「見せない」など、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりに協力してもらえるお店を「青少年を見守る店」として登録してもらい、地域が一体となって子どもを見守る活動を推進しています。

「青少年を見守る店」は、令和6年1月末時点で札幌市内に5,471店あります。「青少年を見守る店」の登録は、札幌市青少年育成委員会や中学校区青少年健全育成推進会などの地域の方々がお店を訪問して、より多くのお店に協力してもらえるように、登録推進活動を行っています。



このステッカーが目印です

令和6年1月末時点での区ごとの登録店舗数は以下のとおりです。

区分	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	合計
店舗数	548	596	782	813	356	498	492	280	693	413	5,471

また、業種別の登録店舗数は以下のとおりです。

職種	書店	文房具、玩具等	有機溶剤	食料品、酒、タバコ	薬品、衛生器具	理容、美容院	遊技場、娯楽施設	飲食店、喫茶店	レンタルビデオ店	その他	合計
店舗数	53	37	109	1,243	241	1,058	53	899	22	1,756	5,471

登録店舗の中でも、特に通学路に面した店舗からは、登下校時の見守り・声掛けを自発的に行っているとの報告を複数いただいております。

また、子どもたちが笑顔であいさつをしてくれ、交流ができ励みになっているとの声も寄せられています。一方で、中学生がタバコを買いに来る、店前にたむろしていることがあるので注意をしているとの報告もあります。

地域で子どもたちが安心・安全に暮らすためには、子どもたちへのあたたかな言葉や見守り、非行防止のための声掛け、どちらも継続していくことが必要です。

引き続き、「青少年を見守る店」の活動にご理解・ご協力をお願いいたします！

札幌市青少年育成委員会とは

地域において子どもたちの健全な育成に関する実践活動を推進するため、市内90地区（連合町内会単位）に組織されています。

市長から選任を受けた委員が、スポーツ・文化事業や環境対策事業などのさまざまな事業を実施しています。

札幌市青少年育成委員会委員の任期は3年で、現在の委員の任期は令和5年4月1日から令和8年3月31日までとなっています。任期の途中でも新たに委員になることができます。詳しくはお問い合わせください。

発行

札幌市子ども未来局子ども育成部子どものくらし・若者支援担当課

札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階

電話：011-211-2947 FAX：011-211-2943

SAPPORO



さっぽろ市
02-G01-23-2632
R5-2-1584